

電子部品工場分の再エネ電気導入により スマートカンパニーのカーボンニュートラルが実現

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、カーボンニュートラルを持続可能な社会を実現するための重要な取り組みと認識しており、創業の地である刈谷工場（以下「刈谷」）を中心に、スマートカンパニーの関工場（以下「関」）、岐阜工場（以下「岐阜」）、東浦工場（以下「東浦」）および電子部品工場（以下「電子部品」）の4工場をモデル工場と位置付けて積極的に推進しています。

このたび、今年2月^{※1}に引き続き、JEPX^{※2}の非化石価値取引市場にてFIT非化石証書^{※3}を購入し、再エネ電気を導入します。

これにより、既に導入済みの関、岐阜、東浦に引き続き、電子部品でもエネルギー起因でのCO₂が実質ゼロとなり、当社の4カンパニーの一つであるスマートカンパニーにおけるカーボンニュートラルが実現します。

今回の再エネ電気の購入量は、創業の地である刈谷およびスマートカンパニー4工場を合わせた5工場分に相当し、年間で合計約1万3千トンのCO₂削減に貢献します。

これにより、2021年10月より順次導入している「カーボンニュートラルな都市ガス」を含め、5工場において年間で合計約2万トンのCO₂削減となります。

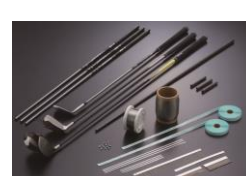
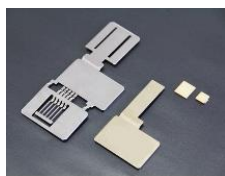
スマートカンパニーは、鋼づくりで長年培ってきた材料・磁気・表面処理技術を応用し、電子機能材料・部品、磁石応用製品、金属繊維などを製造し、国内外に広く販売しています。

今回のカーボンニュートラル実現により、カーボンニュートラルなプロセスで製造したスマートカンパニーの様々な製品をお客様にお届けしていきます。

※1 2022年2月22日付ニュースリリース https://www.aichi-steel.co.jp/news_item/20220222_news.pdf

※2 一般社団法人日本卸電力取引所

※3 FIT制度（太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギーで発電した電気を、一定価格で一定期間買い取ることを約束する制度）を通じて買い取られたFIT電気の非化石価値を証書にしたもの。



スマートカンパニーの製品群（左から、パワーカードリードフレーム、マグファイン[®]、MIセンサ、マグフィット、アモルファスワイヤ使用製品）

以 上